

広報 かがわ

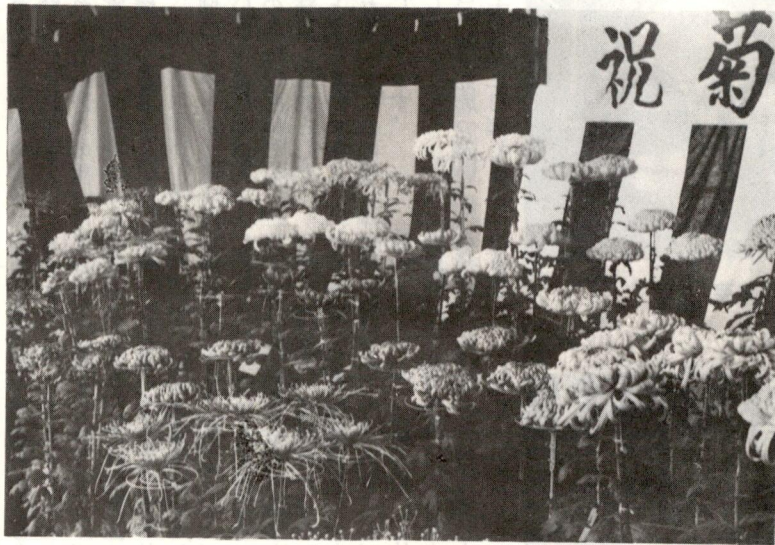
第73号

編集発行
香川自治会
広報委員会
中央タイプ印刷

おやすみ前に
もう一度
火のもと用心

第二回香川文化祭

『親睦とふれあい』をテーマに



文化祭に香りを添える菊菊菊

十月三十日より十一月三日まで香川自治会第二回文化祭が、「親睦とふれあい」をテーマに開催された。

今年も期間中、次々と見学者がおとずれ、いつになく活気ある文化祭だった。展示部門では、書道、ちぎり絵

鎌倉彫、リボンフラワー、俳句皮細工、陶芸、盆栽の他、藤工芸や、手芸、日本画、写真も加わりいっそうにぎわった。

また「敬老のつどい」には、古宮善助さん(九十才)他、六十七名の方々の元気な顔が見られた。(関係記事は二面に)

香川の環境整備

懇談会開かれる

十一月十二日、年度当初より予定していた自治会顧問(亀井隆義、熊沢 晶、亀井精一の三氏)と役員との懇談会が行なわれ、主に環境整備の問題が話し合われました。

「香川は環境整備がおくれていると思うが?」「治水は古くて新しい問題であると思います。台風の際には被害も出て、何とかしてくれという声も聞かれるのですが...自治会館周辺の埋

立も、耕作していない田には雑草が掛るため、地主としては埋立て、畑にしなければならぬという事になります。それで南下水路が出来ると、ホープ理容から保育所の辺まで暫定水路を作る事になってい

「自治会館前の道路は路肩がおちて通学路としても危険で、舗装の事も市へ要望は出してあるのですが...」「幅5m舗装と雨水のための側溝を担当の課へ話してみよう」

「市街化区域の線引の見直しで説明会が開かれますが...」「今後、公聴会なども開かれると思いますが、香川は調整区域がなくなる予定です」

「横断歩道の要望を出して二年になるのにできないのですが、通学路で朝、晩共に車が多いので心配ですが...」「それは警察の方の管轄になりますが、そういう問題はPTAと協力して要望を出さないとスムーズにいかないのではないかと思います。」

香川には色々な団体があります。自治会がそれを把握して話し合いを密にし、それぞれの立場で協力して物事に対処すれば良いのと思われれます。

香川は一般住民の運動がなされないで、そういう住民運動をしたり、自治会サイドの議員をもっと活用して進めて行った方が良いのではないのですか。

「年度事業計画なども、諸団体の役員名と共に見せてくれるとこちらでわかるのですが...」

(註)顧問に事業案を配らなかつたのは、自治会の手落ちですが、年度初めの広報紙には載せてあります。「派出所の件も、警察では土



自治会に 青年の活躍 する場を 小泉裕明



組長を底辺に各委員会の活動は其のほとんどの人が職を持ち社会で活躍している人達である、特に勤め人の方は自己本来の職業のあい間を見て休日も返上で難問を速かに処理しているのであり苦勞の程がさつせられる。私も文化厚生委員長を四年前に無事次の委員長にバトンタッチしたが、一つの行事にも相当長い日時を色々の方の理解と協力なくしては出来ない。其の点私には良い方々に支援して戴いたと大変よろこんでいる。

さて、この様に充実している自治会の姿に充分満足しているが、更にこの上に何か提言をなすねられたら、はて何があるかな!香川の地域内を歩いてみて青年の姿が無いのが気になった。地域運動会、浜降祭には、たしかに多くの青年が活躍し、然も主力になっているが、自治会を始めとし他の一般年中行事には若い婦人層が非常に活躍しているのが目立つのに比べ、青年層の姿はさっぱりであり然も数年前まで細々ではあったが存在していた青年団も多くの疑問を残して遂に解散してしまつた。

香川自治会ほど整っている所はない。他に比べ数段上にあると私は確信している。行事の細かい心使い、伝達事項の豊富さ会計処理等は特にすぐれているもの一つである。会員名簿、全ての住民を一目でわかる町内地図等は茅ヶ崎市内でも香川だけである。

現在の社会生活には青年団の様な組織ある団体活動には全く無関心なのか、積極的に地域発展に役立つと言ふ気が無いのか、ともかく種々な行事に青年の姿がない。地域の発展には若い人が主力となり若さあふれる町作りこそ必要なのではないか。

振り返って自治会の組織に、はたして青年の活躍する場所があるだろうか、現在の組織で充分と言わずに自治会全体で青年の活躍する場所を探して欲しいものである。或いは、これは自治会としても急務な事かもしれない。皆さんの再検討をお願いする次第である。

スポーツ教室の
予定表を
広報モニター

「手軽にできるスポーツで、バトミントン、インディアンカなどの教室に参加してみたいのですが、日時、会場がいつもわかりません。誰にでもすぐわかるように、例へば自治会館に予定表を貼るなどして広く知らせたいだけならと思います」

(回答)香小体育施設運用協議会事務局長体振バトミントン教室担当 坪田種男

は組長さんを通して回覧したり教室に参加した人で電話連絡をとっていましたが、最近では香小PTAのサークルの人が中心になって連絡をとり、みんな参加しているようです。

毎月第四土曜日に次の月の開催日が決るので、これからは月末に各掲示板上に貼りだし、お知らせしますので皆さん大勢参加してください。

インディアンカ教室はこの二ヶ月ほどお休みしていますが担当者に連絡をとって聞いておきます。

おしらせ
初詣歩行大会が行われます。
寒川神社に歩いて参拝
一月一日零時集合(自治会館)
零時半出発

(詩)
外人さん
四年 沓 沢 みさ子
電車に乗っている外人さん
話そうかな
目の前にいる外人さん
英語は少しは知っている
でもやっぱりはずかしい
話すか話すまいか
考えていると
「みさ子、おるよ」って
声が出た
話せばよかった
おいしいことしやうたな
また外人さんに会えるかな



(文化祭会場)

文化祭を開催して

文化厚生委員長 岩田 実

自治会員の「親睦とふれあい」をテーマに第二回香川文化祭を開催致しました。この行事は香川自治会の秋のメイン行事という事もあり、昨年以上の参加者と、回覧、ポスター、クチコミ作戦と努めた結果、皆様の協力と好天に恵まれ多数の方々の出品、参加と観賞を戴き実行責任者として大変嬉しく感謝致しております。

文化祭は一地域の行事としては他に例を見ない大きな行事であります。多くの皆様、団体のご協力を戴いた結果、目的とした会員の「親睦とふれあい」をほぼ達成出来たものと会員の皆様へご報告申し上げます。
行事内容としては
十月三十日(日)の敬老のつどい
十一月一日(月)の敬老のつどい
十一月三日(水)の敬老のつどい
十一月六日(土)の敬老のつどい



↑ぬくもりの感じられる陶芸
↓かわいい藤工芸の作品



健康マラソン
自治会館前をスタート



ママさん選手大奮闘



↑がんばれ
お父さんお母さん
←各町内の
応援も盛ん

菊まつり

- 出品者数 八名
- 出品点数 三九鉢
- 投票総数 二五一票
- 金賞 亀井家治 二七票
- 銀賞 〃 〃 二三票
- 銅賞 飯塚友規 二一票
- 特別賞 真下虎雄 一九票
- 〃 土村知治 一九票

健康マラソン大会

(香川町内一周五三〇〇m)

- 参加者 十七名
- 男子 一位大久保洋一 19分26秒
- 二位金子原幸雄 19分45秒
- 三位渡辺 三郎 20分44秒
- 女子 一位池田由起子 26分17秒
- 二位福 キミエ 27分51秒
- 三位越本 通子 29分28秒
- 申告タイム差
- 一位渡辺 正勝 11秒差
- 二位小池 勇 15秒差
- 三位野口 洋介 15秒差

敬老のつどいに出席された方々

- 一、舞踊 寿クラブ 深川、奥飛驒慕情
- 一、講話 紺屋高尾、ガマの油 坂田美弥次
- 一、舞踊 婦人会 関の五本松、古城 祇園まつり音頭 下四日市敬 村山 幸

俳句 茅花会

- 十夜寺出て買ふなない唐辛子 平塚 司郎
- 母われを生みたかりけり照紅葉 田原 勝郎
- 裏木戸の減りたる敷居雁渡し 熊沢 幸一
- 秋の蚊の仏の御手かすめける 藤村 球子
- 秋岬貝の耳輪を買ひにけり 裕 百合子
- 秋風や焦げあと残る河原石 長島 久江
- 群なして鳥のしずけさ冬木立 田原 佳津
- 桐は実に駅を短かき貨車通る 沓沢 みや

体育祭

十月二日好天に恵まれ、香川地区体育祭がにぎやかに行われた。今年十五周年でもあり、また地域のみならずの意識が変ってきたのか、各種目に出場者がふえ、応援共に盛大で、家族全員が秋の一日を楽しむ光景がみられた。
町内対抗種目の二人三脚、綱引き、フイナールを飾るリレーは、いちだんと応援もにぎやかで手に汗にぎる迫力であった。

- 一位 松風台
- 二位 第一町内
- 三位 第二町内

「特集」 おじゃまします

おめでとう ダイヤモンド婚式 金婚式



(恩田さんご夫妻)

今年には香川地区にダイヤモンド婚式二組、金婚式二組の方々がおられました。そこで

- ① 香川には何年くらいお住まいですか、また住みごころは。
- ② 恋愛ですか、お見合いですか。
- ③ 六十年あるいは五十年という長い年月の中で心に残ることは。また現在の楽しみは。
- ④ 自治会への希望。

などお話しを伺いに、お二人おそろいの所を訪問いたしました。

これから増々長寿の方々が多くなりますが、お二人そろってお元気というのはなかなかたいへんなことです。

「どうぞ、いつまでもおたっしやで」と祈っております。

(担当 越本、山本、福岡、手島)

恩田伊八さん

セキさん

結婚記念日

大正十二年一月八日

①「昭和四十三年六月に東京墨田区から転居もう十五年になります。その頃はこの地産団地に四軒しか家がなくて、駅まで見わたせ、まわりは葦や、かやがっぱいばいでへびが出たり大変さみしい所でした。そして郵便ポストが小さくて東京では外国行国内行とに分けてある大きなものでしたから一番びっくりしました」

② 栃木県出身のご主人と三重県出身の奥さま、お見合結婚で一男一女に恵れ今は長男夫婦と同居されています。

③「六十年と言っても今思えば早かったですよ。皆さんそうだと思いますが、やはり戦争

が一番大変でした。主人が病気をしたこともありましたが、たいしたこともなくここまでできました。でも子供が一人の時が長かったのでよく旅行などにも出かけました。

香川に来てからはずっと老人会に入り会計五年、副会長三年とやってきました。老人会でも旅行に行きますが、子供達もあち

坪田藤吉さん

カツさん

結婚記念日

大正十二年二月二十三日

①「結婚してずっと香川に住んでいます。空気は良いし、とても住みごころは良いと思っています」



(坪田さんご夫妻)

かったし、第一親がいばって親の言うことをきかないと、離れたものです。年代の相違かも知れませんが、今は親より子供の方がいばっている家庭が多いですね」

③「長いこと農家の生活をしていたら、楽しいことも苦しいこともありました。昔のことを今言えば笑われますので……」

④「自治会への要望は特にないのですが、空気が良くて住むには良い所だけれど道路と下水がもう少し良くなれば良いと思っています。市への要望は南部ばかりでなく北部にも、もっと力を入れて欲しいと思っています。学校の件にしても中学になると鶴が台中と北陽中とに別れてしまい、子供達もほんとうにかわいそうだと思います」

こちら旅行に誘ってくれます。そして孫にかまれば平凡な毎日ですが楽しく暮らしています」

④「特にありません」

ダイヤモンド婚式というのは結婚六十一年のお祝いで、取材するのは初めての経験ですが、とても六十年たった御夫婦とは思えない若々しいお二人でした。

(第二町内在住)

有馬純明さん

イマさん

結婚記念日

昭和四年八月十七日

私共が訪問のお電話をしたところ、ご主人は娘さんの所(岡山県倉敷市)にお出かけで留守でしたが、お手紙で詳しく五

十年の長い年月を書いて下さいました。そこでご長男のお宅を訪ね手紙と合せ奥様にお話しをうかがいました。

①「昭和四十一年四月に鹿児島より転居、十七年になります」

②「昭和四年八月、二十二歳と二十三歳で当時郷里鹿児島島の慣習で仲人親族だけのきわめて簡素な結婚式をあげました。二男二女に恵れ、今ではそれぞれ独



高橋藤吉さん

カツさん

結婚記念日

昭和八年一月十九日

立、残念ながら五年前長女が急逝しましたが孫九名、曾孫五名、現在は長男家族と五人暮らしです」

③「戦争をはさんで未だかつて味わったことのない文字通り波瀾万丈、迂余曲折の人生でしたが、家内は何ひとつ不平をいわずよく尽くしてくれました」

現在、ご主人は読書・旅行・手紙を書くことが好きとのこと。奥様も旅行はじめご主人が行くところはどこでも一緒に行きまかせとニコニコ笑っていられる笑顔が印象的でした。家の中にあつては家事分担をお嫁さんと上手にされ、お元氣な秘決をみたような気がしました。

④「物を書くことが好きなので何かお役にたてること惜しみませんのでどうぞ」とのことでした。

(第一町内在住)



(高橋さんご夫妻)

①「香川に約五十年住んでいますが、以前は豊屋さんの所(岡山県倉敷市)にお出かけで留守でしたが、お手紙で詳しく五

十年の長い年月を書いて下さいました。そこでご長男のお宅を訪ね手紙と合せ奥様にお話しをうかがいました。

よいところです」

②「お見合い結婚で四男一女に恵まれ、現在は長男夫婦と同居しています。昔は今みたいにひらけてないし、お見合いが多かったものです」

ご主人の実家は円蔵で奥様は藤沢からお嫁入りなされ、ご主人が次男でしたので分家して香川に新居をかまえたそうです。

③「やはり戦争の頃が一番大変だったと思います。でも誰もみんなのりこえてきたことです。その頃はつらいことも多く、楽しいことも少なかったですが、現在ではこうして毎日畑仕事を元気にしています」

④「長いこと香川にお世話になってますので、別にこれといった要望はありません」

(第二町内在住)

香川みてある記



さっそく現場で作業しているボランティアの方々の中から男の方に案内役をしていただいた。

この地は千二、三百年前相模川の支流である小出川を中心として川の堆積によって出来た所を田や畑に、そしてそこから少し離れた所(微高地という)を住居としていた古代の人々が、この豊かな自然環境を利用していかにかに定住し、生活してきたかを知る貴重な調査地である。

この当りの地層は千五、六百年前の富士山の噴火による火山灰が積ってできた赤土で関東ローム層と呼ばれているが、現在はその上に黒土がおり畑や家が建ったりしているので発掘調査をするには関東ローム層の所まで掘下げてその年代を調査する。そのため掘おこされた土が小高い丘の様だ。掘り出された竪穴住居の柱跡や住居の大きさ、井戸、農具や土器、つり具またカマド跡などからも古墳時代から平安時代、鎌倉、室町時代そして江戸時代のもので思われる溝(用水路・排水路または堀として?)が見られ、一時期だけでなく次々と永

西久保

上ノ町遺跡を訪ねて

今回は、新湘南国道建設に伴う埋蔵文化発掘調査、最後の地西久保の上ノ町遺跡を香川のすぐ隣りというところで訪ねてみた。

近くは小出川の土手のすきと、はるか湘南平の高麗山が手にとるように見えるすばらしい所で、これが数日後には埋められて、道路になるかと思うと少々残念な思いがした。

い間生活してきたことがわかる。藤沢にカ所、茅ヶ崎に六ヶ所の西久保の発掘現場まで三年の年月を要し、この地ではのべ百人位の方々の努力でここに調査が終わり、最新の技術による工法で、道路として未来に引き継ぐことも歴史のひとつまであるうか。

「今後この調査の詳細な地図、地表と発掘された土器の道具を、スライド、写真展、遺物の展示等と共に一冊の本にし、市民の皆様にも見ていただくチャンスを作りたい」と社会教育課の大村さんは言っていた。

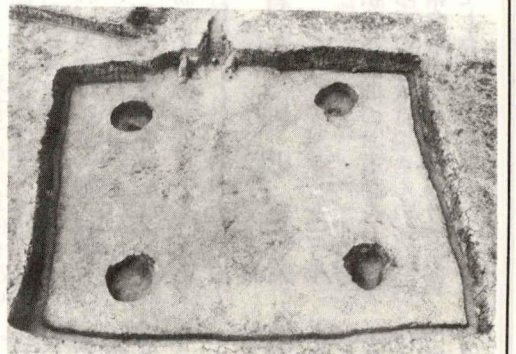
私達の祖先が、どのように住居をかまえ、定住してきたか、身近な歴史を知る楽しみをその機会に子供さんも一緒に見学することをすすめる。

私の自慢

小峯義信



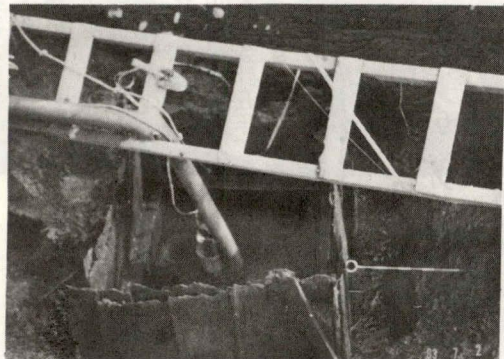
私は藤沢の生れです。私が十四、五才の頃今の藤沢市民病院のところを競馬場でしたので五月五日のお節句の日は、二間四方、九尺四方、六尺四方、二尺四方などの大小の凧が空を黒くする程上りました。私はその頃より絵が好きでしたのでたのまれて大きい凧に絵を書いておりましたが、最近又凧保存会ができ、たのまれると書いております。現在は二尺角位のかざり凧を主として書いております。(第三町内)



(竪穴住居址)

「今後この調査の詳細な地図、地表と発掘された土器の道具を、スライド、写真展、遺物の展示等と共に一冊の本にし、市民の皆様にも見ていただくチャンスを作りたい」と社会教育課の大村さんは言っていた。

私達の祖先が、どのように住居をかまえ、定住してきたか、身近な歴史を知る楽しみをその機会に子供さんも一緒に見学することをすすめる。



(井戸址 中世末)

広げよう

地域のふれあい

香川学区青少年育成推進協議会では、十一月十九日自治会館に於て、ビデオ「親の知らないところで」と、社会教育評論家NHK出版協会役員である藤本清先生をお迎えし、「地域での青少年の健全育成について」と題して講演会を開いた。

みなさん、お子さんとの対話はされていますか？

先生の統計では一日の家の中で親と話す時間が小学五年生で十二分、中学生二分三十五秒、高校生三十秒と予想外の数字が出ている。それに反して母親の話す時間は小学生七十分、中学生六十秒とたいへん多い、それだけ母親の一方的な会話が多いということであろう。

子供に対するしつけというのは、やはり小、中学生までにしっかりとつけなければ十六、十八才の成長期に選択の力がついてくるという。

国立市では「うちの子を叱って来てあげよう」という標語を各戸に貼り出しているということがあるが、これもやはり母親が素直に他人の好意を受け止めて行く意識をつちかかってこそ、地域とのふれあいの効果が上がることと思う。

「今の社会情勢は昔と三つの違いがありなかなかわずかしい、その三つの違いとは①核家族化、②偏差値教育、③マスコミの影響、特に①の中では昔あった太陽の光、七光といって父、母、祖父、叔父、叔母、兄弟姉妹、友人、近隣の光があたっていたのが一人前になっていくのだが、今では父、母、たまに祖父母等の光がわずかであるだけなのでどこかでそれを補っていかねばならない。それにはやはり近隣の光、これをみなおし、地域のいろいろな団体がふれあって子供たちを見守っていかねばならないのでは」と結ばれた。

身につまされる話をユニーク

ソフトボール大会

十月二十三日、町内対抗ソフトボール大会が男子は高度鋼グランド、女子は香川小学校で行われた。

男女、別々のチームを作っても五年目、試合を同じ会場で見戦できないのは残念だが、これもチーム数や時間の都合上しかたのないことなのだろう。

香川地区でも、スポーツが盛んになってきたのは喜ばしいことである。

特に主婦のスポーツ熱が高まるなかで、各々の町内が日頃からチームを結成し、練習を重ね、この日を待っているという。

お母さん選手たちの一生懸命な好プレーに、家族の応援が盛んにとんでいた。

優勝 男子 第一町内会
女子 甘沼

二位 男子 松風台
女子 第一町内会

三位 男子 甘沼
女子 第二町内会

自治会日誌

- 9月22日 文化厚生委員会 役員会
- 24日 文化厚生委員会 役員会
- 10月1日 文化厚生委員会 役員会
- 2日 文化厚生委員会 役員会
- 3日 文化厚生委員会 役員会
- 8日 文化厚生委員会 役員会
- 10日 文化厚生委員会 役員会
- 14日 文化厚生委員会 役員会
- 15日 文化厚生委員会 役員会
- 16日 文化厚生委員会 役員会
- 20日 文化厚生委員会 役員会
- 22日 文化厚生委員会 役員会
- 23日 文化厚生委員会 役員会

計報

9月10日	第三町内会	25組
9月23日	第四町内会	21組
9月28日	山本 忠殿	76才
9月28日	第四町内会	6の1組
9月28日	福山重太郎殿	86才
10月7日	第四町内会	22の1組
10月7日	栗原庄太郎殿	78才
10月9日	第三町内会	22組
10月9日	小杉貞三殿	72才
10月12日	第四町内会	24の1組
10月13日	三橋春司殿	78才
10月13日	第三町内会	19組
10月18日	河合あき殿	39才
10月18日	第一町内会	33組
10月21日	松本吉太郎殿	83才
10月21日	第一町内会	27の1組
10月21日	伊藤貞雄殿	60才
11月16日	第一町内会	10組
11月16日	岡崎作治殿	60才

謹んでお悔み申し上げます。

編集後記

* 自治会の行事も、夏の浜降祭、盆おどり、秋の体育祭、文化祭と例年の様に行われましたが、今年はその行事にも参加する方が増え、体育祭の時は賞品がたりないのではないかと、係の人はうれしい悲鳴をあげていました。

行事が盛会であればある程、裏方の大勢の人々の協力が心に残されました。

* 咳の子のなぞなぞあそびきりもなや 汀女

今年もシクラメンの鉢が花屋の店先に並び初めました。年の瀬も近く、何かと忙しい時期になってきましたが、風邪に注意され、よい年をお迎え下さい。